プログラム

口頭発表時間 10分: 発表8分 質疑2分

15 分: 発表 12 分 質疑 3 分 20 分: 発表 16 分 質疑 4 分 25 分: 発表 20 分 質疑 5 分 30 分: 発表 25 分 質疑 5 分

(1鈴:発表終了1分前, 2鈴:発表終了質疑開始, 3鈴:質疑終了)

ポスター発表 3月30日

15:50-16:50 奇数番号, 16:50-17:50 偶数番号

3月30日(水)

13:30-13:35 支部長あいさつ

桑島邦博 (岡崎統合バイオサイエンスセンター)

口頭発表 1 (13:35-14:25) (座長:神山勉(名古屋大学))

- 13:35-13:55 (20分) レプリカ交換法を用いたアポミオグロビンのヘリックス形成順序の比較 ○阪口剛志、岡本祐幸(名古屋大学 大学院理学研究科)
- 13:55-14:10 (15分) カイコを利用した甘味受容体細胞外領域の大量発現系構築および味覚 修飾タンパク質クルクリンとの相互作用
 - ○文庫有志¹、矢木宏和¹、雨宮瑛子¹、栗本英治²、加藤晃一¹,³(¹名市大院薬、²名城大薬、³岡崎統合バイオ)
- 14:10-14:25 (15 分) ビブリオ菌べん毛モーターにおける H リングタンパク質 FlgT の相 互作用およびトポロジー解析
 - ○小池雅文、小嶋誠司、本間道夫(名古屋大学大学院理学研究科生命理学専攻)

14:25-14:40 (休憩)

口頭発表 2 (14:40-15:35)(座長:古谷祐詞(分子研))

- 14:40-15:00 (20分) クリプトクロームにおける電子移動反応の理論的研究
 - ○佐藤竜馬、倭剛久(名古屋大学 理学研究科)
- 15:00-15:20 (20 分) バクテリオロドプシンの Leu93 の役割に関する X 線結晶構造解析
 - 〇張進¹、山崎芳和¹、樋掛正則¹、村上緑¹、井原邦夫²、神山勉¹(¹名古屋大理学研究科物質理学、²名古屋大学遺伝子実験施設)
- 15:20-15:35 (15 分) **ATPase やリン酸化状態に依存した KaiC の概日性構造変化**○向山厚 ^{1,2}、村山依子 ^{1,2}、今井圭子 ^{1,2}、松井佑介 ^{1,2}、近藤孝男 ^{1,2}、秋山修志 ^{1,2,3,4}(¹名大院・理、²CREST/JST、³理研・播磨、⁴PREST/JST)

15:35-15:50 (休憩)

ポスター発表

15:50-17:50 ポスター発表 (15:50-16:50 奇数番号, 16:50-17:50 偶数番号)

18:00- 懇親会(花の木)

3月31日(木)

口頭発表3 (9:00-10:25) (座長:神取秀樹(名古屋工大))

- 9:00-9:20 (20分) Characterization and comparative study of the periplasmic region of PomB, a Na⁺-driven flagellar stator protein in *Vibrio alginolyticus*
 - ○李娜 ¹,², 小嶋誠司 ¹、本間道夫 ¹ (¹名大・院理・生命理学、² 西北農林科技大学・生命科学)
- 9:20-9:40 (20分) Ligand-protein interaction studied by computer simulation and time-resolved x-ray crystallography
 - 〇都築峰幸 1,4 、富田文菜 2 、腰原伸也 2 、足立伸一 3 、倭剛久 1,4 (1 名大院理、 2 東工大、 3 高工ネ研、 4 JST-CREST)
- 9:40-10:10 (30分)配列順序に依存しない蛋白質構造アラインメントの新規手法
 - ○南慎太朗, 澤田賢吾, 千見寺浄慈(名古屋大学 工学研究科)
- 10:10·10·25 (15分) 高圧下におけるユビキチンの構造変化:焼き戻しシミュレーションによる研究
 - ○森義治, 岡本祐幸(名古屋大学 大学院理学研究科)

10:25-10:40 (休憩)

口頭発表4 (10:40-11:45) (座長:岡本祐幸(名古屋大学))

- 10:40-11:00 (20分) 霊長類色覚視物質の内部結合水の構造解析
 - 〇片山耕大¹、古谷祐詞¹,²、今井啓雄³、神取秀樹¹(¹名工大院工、²分子研生命錯体、³京大霊長研)
- 11:00-11:15 (15 分) **Hydrogen-exchange studies of the free heptameric GroES**OMahesh S. CHANDAK, Takashi NAKAMURA, Koki MAKABE, Koichi KATO, and Kunihiro KUWAJIMA(Okazaki Institute of Integrative Bioscience, National Institutes of Natural Sciences, and The Graduate University for Advanced Studies (Sokendai))
- 11:15-11:45 (30分) ポテンシャル面の変形によるマルチプルシークエンスアラインメント (MSA) 評価スコアの最適化
 - ○澤田賢吾, 南慎太朗, 千見寺浄慈(名大・工)
- 11:45-13:20 (昼食)

口頭発表 5 (13:20-14:15) (座長:本間道夫(名古屋大学))

- 13:20-13:45 (25 分) **リガンド結合とタンパク質立体構造変化の関係の分類と注釈付け** ○雨宮崇之 ^{1,2}、小池亮太郎 ¹、渕上壮太郎 ²、池口満徳 ²、木寺詔紀 ^{2,3} (¹名大院・情報、 ²横浜市大院・生命ナノ、³理研・次世代計算科学)
- 13:45-13:55 (10 分) 徐冷法と遺伝的アルゴリズムを組み合わせた分子の安定構造探索法の 提案について
 - ○榮 慶丈¹, 廣安 知之², 三木 光範³, 岡本 祐幸¹,⁴ (¹名古屋大学大学院理学研究科, ²同志社大学生命医科学部,³同志社大学理工学部,⁴名古屋大学大学院理学研究科附属構造 生物学研究センター)
- 13:55-14:15 (20分) Effect of a positively charged Lysine group in the 105 position of Proteorhodopsin
 - OTushar Kanti Maiti, Keisuke Yamada, Keiichi Inoue and Hideki Kandori (Nagoya Institute of Technology)

14:15-14:30 (休憩)

口頭発表6 (14:30-16:00) (座長:桑島邦博(岡崎統合バイオ))

- 14:30-14:50 (20 分) **Na+駆動型べん毛モーター固定子複合体のモーターへの集合機構**○小嶋誠司¹、野々山菜摘¹、竹川宜宏¹、福岡創²、本間道夫¹(¹名大・院理・生命理学、²東北大・多元物質科学研究所)
- 14:50-15:05 (15分) NMR を用いたミトコンドリアジスルフィド結合導入タンパク質 Tim 40 と FAD 結合型酸化 酵素 Erv1 の相互作用様式の解明
 - ○安西高廣、河野慎、若森育也、寺尾佳代子、遠藤斗志也(名大院・理・物質理学)
- 15:05-15:20 (15分) ハロロドプシンのアザイド結合の状態
 - ○中西太市¹、金田創運¹、竹口優¹、村上緑¹、井原邦夫²、神山勉¹(¹名大・院理、²名大遺伝子実験施設)
- 15:20-15:40 (20分) レプリカ交換法による膜たんぱく質の立体構造予測 ○浦野諒、岡本祐幸(名古屋大学大学院理学研究科)
- 15:40-16:00 (20 分) **赤外分光法でみる V 型 ATPase のイオン結合・解離に伴う構造変化** ○古谷祐詞 ^{1,2}、村田武士 ³、神取秀樹 ⁴ (¹分子研、²総研大、3[,]千葉大・院理、⁴名工大・院工)
- 16:00-16:30 休憩(優秀発表賞、ポスター賞選考委員会)
- 16:30 17:00 中部支部総会と優秀発表賞、ポスター賞贈呈